

村内史跡見学 (一小)



6月30日、泉崎第一小学校6年生20名が村内の歴史を学ぶため、講師に佐川栄先生をお迎えし、泉崎資料館、観音山摩崖供養塔婆群、泉崎横穴、関和久官衙遺跡を見学しました。

資料館では上礼堂遺跡から出土された、壺や甕（かめ）などの土器類が、煮炊きや貯蔵を可能にし、食生活が豊かで安全になったことで、当時の人々の身体構造や生活様式（衣・食・住）が大きく変化したことを学びました。

また、国史跡として指定されている「泉崎横穴」では、棺や副葬品を納めるために作られた最も重要な部屋「玄室」を班ごとに見学しました。多くの児童が初めての見学で、壁面に描かれている人物や小動物などの絵に興味深く観察し、いにしえの先人たちが古墳を作った歴史的背景に思いを馳せることができました。

なお、泉崎資料館所蔵の「力士像埴輪」が福島県文化財センター白河館（まほろん）で開催中の開館25周年記念企画展「ふくしまのかお」で9月27日まで出張しています。県立博物館で常時展示されている、力士像と共に原山古墳で出土された「冠を被る人」、「琴を弾く人」も併せて展示されていますので、この機会に泉崎村の県指定重要文化財「埴輪」たちのそれぞれの造形と表情をぜひご覧ください。

リレートーク

306

鈴木 静香さん

鈴木康志さんからバトンを受け取りました。

私は、泉崎村に住み始めて10年が経ちます。今では3姉妹の母となり、毎日慌ただしくも、賑やかで愛おしい日々を過ごしています。子どもたちの成長はあっという間なので、今この瞬間や友達を大切に、元気に育ててほしいです。そんな我が家ですが、地域の皆さんから新鮮な野菜をいただいたり、温かい言葉をかけてもらったりと、恵まれた環境に日々感謝の気持ちでいっぱいです。

そんな私が日々の生活で大切にしているのは、「自律神経を整えること」です。まずは「食べる・眠る・動く」という基本を大切に、みんなで健康に過ごしたいなと思っています。また、忙しい毎を送る子どもたちにも「ちょっとの間、ぼーっとしてごらん」と勧めているのですが、これがなかなか難しいみたいです。いつか子どもたちが大きくなったら、おしゃれなカフェで一緒にぼーっと過ごすという夢と共に、大迫代智さんへバトンタッチです。



次回、大迫 代智さんにバトンタッチ！